

## 特集号「村上春樹 表象の領域」刊行にあたって

米村 みゆき

本号は、2014年度から3カ年にわたって実施した共同研究「村上春樹表象の領域」の成果の一部である。本研究は、本号に寄稿した山口政幸、高橋龍夫、米村みゆきが、専修大学人文科学研究所の特別助成の補助金を受け、実現できたものである。

現在、各国の文化や思想、言説が、インターネットを中心とした多様なメディアによって相互に交流するさまを見ることができる。文学作品（研究）についても例外ではない。とりわけ、村上春樹の小説には、日本以外の文化、特に音楽、映画、演劇、美術、そして世界的な歴史的事象が、記号的表象として機能していることが見て取れる。本号は、村上春樹の文学作品を文化表象の一つとして、多国間、多文化の関係の網の中において考察することを試みたものである。

本研究では公開講座を2014年11月8日に開催した。同講座では、村上春樹の英語翻訳の第一人者であるジェイ・ルービン先生をお招きしたほか、いくつかの研究発表を行った。同日は学内外から数多くの聴衆やマスコミ関係者が集まり、村上春樹についての関心の高さを示す場となった。本号では、共同研究のメンバーのほか、同公開講座で登壇した奥田浩司先生と佐久間由梨所員に執筆いただいた。

共同研究の成果は、同じ視座から、さらに多くの執筆者を含めた著作についても出版の予定であることを付記しておきたい。